



富士見橋が全容

高田機工

高田機工は3日、東京臨海副都心の有明北地区と豊洲地区を結ぶ富士見橋（東京都江東区）の架設作業（写真）を完了した。富士見橋は全長201㍍、鋼材量約2000ト

で、東京都から13億円で、東京から13億円の和歌山工場（和歌山県海南市）で橋桁を3ブロックに分けて製作し、2隻の台船で海上輸送。同日、クレーン船により中心部の最後の橋

クレーン船で架設完了

桁が架けられ、全容を現した。

クレーン船を使う架設作業は最近では珍しく、雨天にもかかわらず東京都の関係者ら100人以上が見学を訪れ、本社のある大阪から宝角正明

東京・臨海副都心

社長も駆け付けた。宝角社長は「富士見橋は起重機（クレーン）船会社とも連携して綿密に原価を計算して応札し、受注に成功した案件」と感慨深そうに作業を見守っていた。最終的な引き渡しは2010年3月の予定。